

交通の御案内

●車をご利用の場合

東京方面から 東名高速道路「浜松I.C.」→国道1号方面へ→国道1号を豊橋方面へ→
(約14km)→「篠原東」交差点を左折

名古屋方面から 東名高速道路「浜山西I.C.」→右折・県道65号を南へ→(約9km)→
国道1号「坪井町」交差点を直進し、約300m先(水泳場の看板あり)信号左折

●バスをご利用の場合

路線バスで JR浜松駅北口バスターミナル4番のりばから、
「16-4 春日町・法枝・浜松市総合水泳場」行きに乗り、
終点「浜松市総合水泳場(ToBiO)」下車、徒歩約3分



浜松市西部清掃工場

〒431-0201 静岡県浜松市中央区篠原町26098番地の1
TEL.053-440-5374

ホームページ <https://hamamatsu-seibuseisoukoujou.com/>



設計監理 パシフィックコンサルタンツ株式会社
設計施工 三井造船・三井住友建設特定建設工事共同企業体
施設運営 JFE 環境テクノロジー株式会社



環境啓発施設 えごぼま

開館時間：午前9時～午後4時
休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始
見学：無料(駐車場あり)

■ごみ処理に関するお問い合わせ先 TEL:053-440-5374
■環境イベントに関するお問い合わせ先 TEL:053-440-0150



発行者：JFE 環境テクノロジー株式会社 令和5年2月

浜松市 西部清掃工場



浜松市

浜松市西部清掃工場とは

市民や事業所から出される
もえるごみなどを処理でき、
さらに、再資源化やエネルギーの再利用を
行うことのできる、環境負荷を抑えた
最先端の清掃工場です。

3つの優れた特長

1 最終処分場の延命化

今まで埋立てしていた灰や不燃物を、熔融スラグや精製塩、ミックスメタルにすることで再資源化でき、埋立量を少なくできること。

2 サーマルリサイクル

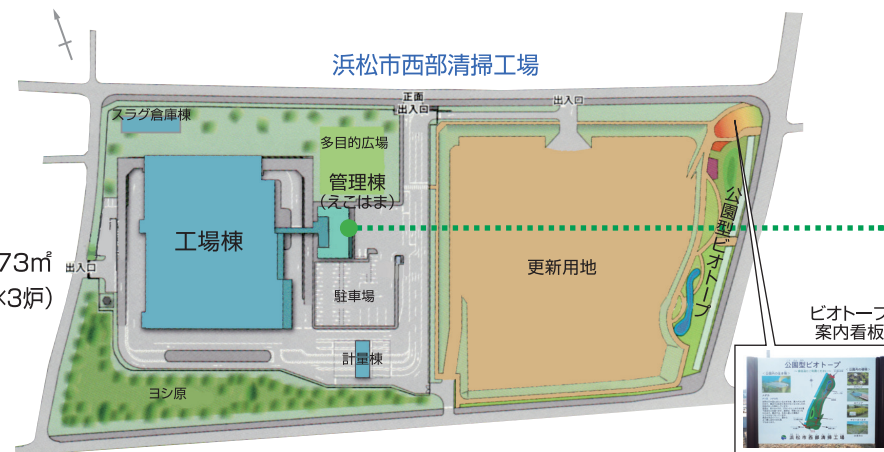
熱エネルギーの再利用率が高いこと。

3 環境負荷の低減

排ガス規制値に厳しい自主規制値を設け、
クリーンな排ガスとして煙突から出し、環境に配慮していること。

施設の概要

施設名称 浜松市西部清掃工場
事業主体 浜松市
所在地 浜松市中央区篠原町26098番地の1
総事業費 13,595,400千円
着工 平成17年5月31日
竣工 平成21年1月31日
建築規模 敷地面積:66,960㎡ 延床面積:15,373㎡
施設規模 処理能力:494.7t/日(164.9t/24時間×3炉)
処理方式 キルン式ガス化熔融炉
発電機出力 9,600kW



公害防止基準

工場からの排出物数値は管理棟前の電光板にモニタリング表示しています。さらに、ToBiO・篠原公民館でも同じデータを見ることが可能です。

項目	自主規制値	法規制値	項目	自主規制値	法規制値
ばいじん	0.01g/m³N	0.04g/m³N	ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m³N	0.1ng-TEQ/m³N
硫黄酸化物	50ppm	1308ppm (K値=7)	一酸化炭素(4時間平均)	30ppm	100ppm
窒素酸化物	50ppm	250ppm	水銀	50μg/m³N	50μg/m³N
塩化水素	45ppm	430ppm	ダイオキシン類総排出量	4.25μg-TEQ/ごみt	※

※法規制値は定められていませんが、環境負荷軽減のために自主規制値を定めて遵守しています。

環境啓発施設

えこはま

見学
自由

「えこはま」は、浜松市西部清掃工場管理棟の環境啓発施設です。
2階の情報展示スペースでは、展示や体験を通じて
環境にやさしい「エコライフ」や「ごみ問題」を学ぶことができます。



下記にご紹介する環境啓発に関する事業を行っています。

リユース 工房



不用品な木製家具をリユースしています。

おもちゃ 病院



壊れたおもちゃを修理します。

エコ講座



エコロジーや環境に関する講座や講習会を随時開催しています。

※写真は布ぞうりづくり

もったいない市(不用品交換市)



まだまだ使えてもったいない家庭内の不用品の衣類や本・おもちゃ・日用品など。フリーマーケットに参加するほどの量はないけど誰かに使ってもらえたら...そんな市民のための譲り合いの場所を開催します。

もったいないコーナー



家庭内で不用品となった「本」「おもちゃ」「子ども服」(寄付)を、清掃後に展示し、希望者が持ち帰りができるコーナーです。(個数制限があります。)

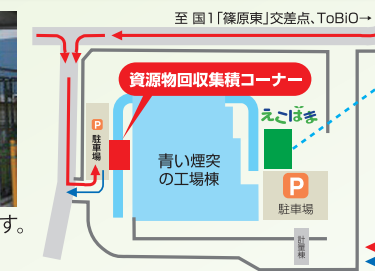
資源物回収集積コーナー



地域に限らず、誰もが持ち込める資源物回収の拠点です。

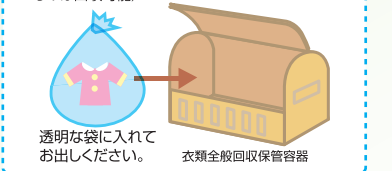
回収品目

新聞紙・折込チラシ、段ボール、雑誌・雑がみ、ビール瓶(大・小)、一升瓶(緑・茶色のみ)、アルミ缶



衣類回収コンテナ 会場:えこはま1F

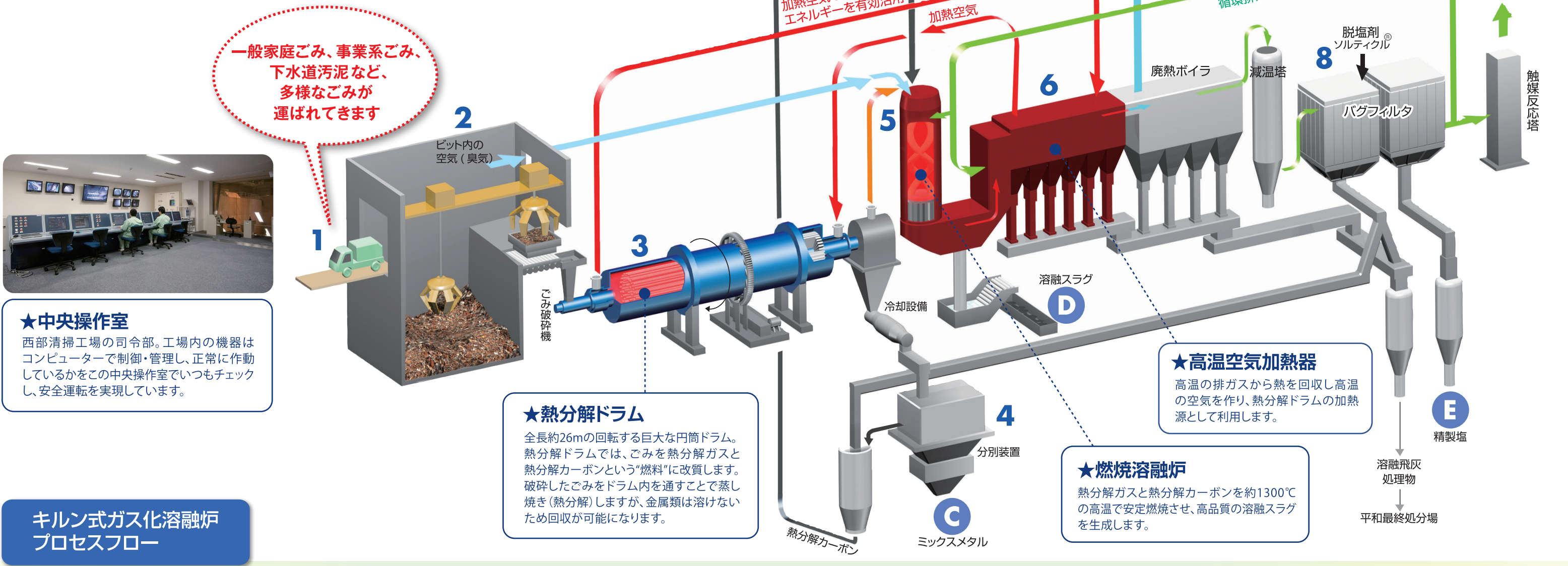
◎回収対象:衣類全般(原則的に衣類として着用できるものは回収可能)



詳しいご利用方法は、えこはまのホームページをご覧ください。
<https://hamamatsu-seibuseisoukoujou.com/>

浜松市西部清掃工場のしくみをご紹介します。 最先端のシステムで、ごみを効率良く処理しています。

さらに発生する熱エネルギーを再利用するなど、エコロジーにも配慮した清掃工場です。



1 ごみの搬入
ごみ収集車が収集したもえるごみなどが浜松市西部清掃工場に搬入されます。搬入扉は8門あります。

2 ごみピット
ごみピットは運び込まれた大量のごみを一時的に貯める場所で、深さ約15mあります。

3 熱分解
破碎した細かいごみを、空気のない状態で約1時間、450℃で蒸し焼きにして、熱分解ガスと熱分解固形物にします。

4 分別
熱分解固形物を熱分解カーボン（炭）と金属類に分けます。間違っって混入した金属類もミックスメタルとして再利用します。

5 燃焼溶融
熱分解ガスと熱分解カーボンを約1300℃の高温で燃焼・溶融します。灰分は高温で溶けてスラグとなります。またごみピット内の空気を燃すことで、工場外への臭気漏れを防いでいます。

6 高温空気の回収
燃焼溶融炉から出た高温排ガスの熱を利用し、[3]の熱分解ドラム加熱用の高温空気を回収します。すなわち熱（サーマル）のリサイクルを行ないます。

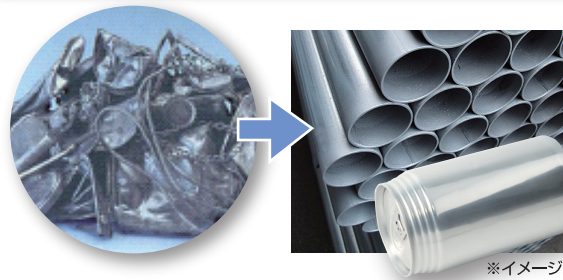
7 熱回収・発電
さらに高温排ガスの熱を利用して、廃熱ボイラで水を蒸気に変えて、発電機のタービンを回し電力を発生させます。

8 排ガス処理
排ガスは減温塔で冷却後、バグフィルタで飛灰や塩化水素、硫酸化合物を取り除き、触媒反応塔でダイオキシン類と窒素酸化物を除去してクリーンな状態にして排気します。



ごみを再資源化することで、埋立物の減量と生活に役立つ資源に生まれ変わります。

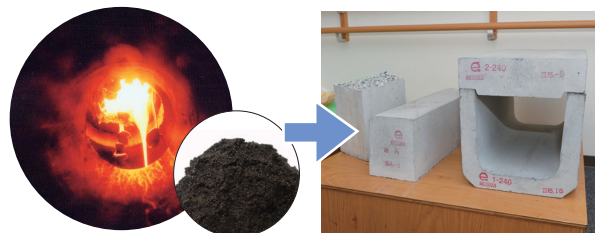
C ミックスメタル



間違っでごみに混入した金属類（鉄やアルミなど）は熱分解ドラムの温度約450℃では溶けず、また空気が無いので酸化されない状態で回収することができます。これが「ミックスメタル」で、再生金属の材料として利用されます。

※イメージ

D 溶融スラグ



燃焼溶融炉で熱分解カーボンを燃やしてできた灰を溶かしてできる砂粒のようなものが「溶融スラグ」です。道路のアスファルト舗装や、コンクリート二次製品の材料として利用されます。

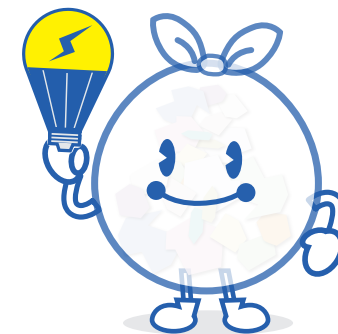
E 精製塩



排ガス中の塩化水素や硫酸化合物は、バグフィルタに重曹系の脱塩剤ソルティクル®を吹き込み、これと反応させて除去します。反応後の生成物を回収し精製したものが「精製塩」で、冬に雪が積もる地方の道路の凍結防止剤や、プールの滅菌剤の原料などとして利用されます。

ごみから、再生エネルギーや再生資源が生み出されます！

A 電気エネルギー



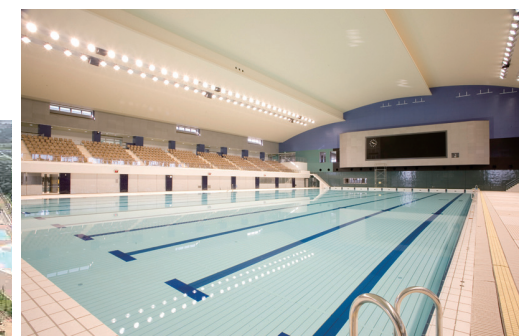
クリエネちゃん®

浜松市西部清掃工場発電所イメージキャラクター

ごみを燃やした時に発生する熱を利用して水を蒸気に変えて、発電に利用します。蒸気の圧力でタービン（羽根）をまわし、発電機で電気を得ます。発電した電力は、施設内でエアコンや照明等に使用するほか、隣の施設ToBiOへも供給されています。さらに余った電気は電気事業者に売電します。発電規模は9,600kW、一般家庭約20,000軒分の電力に相当します。

B サーマル(熱)リサイクル

浜松市西部清掃工場からの熱や蒸気をToBiO(水泳場)の温水プールに使用しています



ごみを燃やした際に発生する「熱と蒸気」を使い、温水も効率的につくる事が可能になり、隣接する古橋廣之進記念浜松市総合水泳場(ToBiO:トビオ)の温水プールにも使われており、1年中快適に水泳を楽しむことが可能になっています。